

決議第5号

延岡市駅前複合施設「エンクロス」の次期指定管理者公募手続の一時停止及び公募方針等を見直しを求める決議

市当局においては、7月21日に延岡市駅前複合施設「エンクロス」の令和5年度以降の次期指定管理者の公募手続を開始したが、その公募方針等には、6月定例会で市議会が「予算組み替え動議の可決」や「請願の採択」などで示した意見が反映されておらず、市議会の意向と大きな隔たりがある条件での公募開始は、応募を検討している事業者や「エンクロス」の今後を心配している市民に対して大きな不安を与えるものである。

また、今回は公開の場で行われた応募団体のプレゼンテーション等が今回は非公開で行われることも、選定過程における透明性の確保の点から懸念される場所である。

現在の「エンクロス」が、全国に誇れる施設であるのは、指定管理者による「企画・相談・マッチングなど利用者に伴走しながらの市民に寄り添った、きめ細やかな市民活動へのサポート業務」が行われていることが大きいですが、この業務が次期指定管理者の業務から除外されることとされており、市当局は代替案を示しているが、これまでと同様のサポートが行われるとは思えず市議会として承服できるものではない。

今後、次期指定管理者が最終的に決定するためには、市議会での議決が必要となるが、このまま過半数以上の議員の意向を無視した形で進め選定された事業者が提案されても、議案が否決されることも想定され、その場合、応募した事業者や選定に携わる外部委員の方々のご尽力が無駄になってしまうことになる。

さらに、最悪の場合、令和5年4月1日以降の指定管理者が決まらず、施設が休止してしまうことも想定される。本市の玄関口である延岡駅において、そのような事態が発生すれば、市民をはじめとした利用者に多大な迷惑をかけるとともに、本市の対外的なイメージダウンは必須であるが、公募開始直後の現時点において、公募方針等を見直すことにより、そのような最悪の事態は回避できるものとする。

以上のようなことから、今後予想される混乱を未然に防ぐには、本市の行政の責任者である市長の英断が必要であると考えられるので、市議会として、延岡市駅前複合施設「エンクロス」の次期指定管理者公募について、下記の事項を講じるよう、市長に対して強く要望する。

記

1. 利用者の満足度が高い市民活動の相談・サポート業務を犠牲にした指定管理料の減額は、同施設における市民活動の停滞を招き、賑わいを喪失させるものであるため行わないこととし、指定管理料の減額については、事業者の提案の中で行うこと
2. その上で、現在実施している次期指定管理者の公募手続については、一時停止し、エンクロスにおける「市民活動の場の提供及びサポートに関する業務」のうち、現在の公募方針において、次期指定管理者が実施しないこととしている「市民活動に係る企画・立案・活動に対するアドバイスや振り返り」の業務については、同業務に携わる従業員の雇用を守る観点からも、引き続き指定管理者が実施するよう方針を見直し、それに伴う人員配置や指定管理料の上限額等の見直しも行うこと
3. 上記の見直しを早急に行った後、速やかに公募手続を再開し、令和5年4月1日以降の「エンクロス」の運営に間に合うように、次期指定管理者の選定を行うこと

以上、決議する。

令和4年7月29日
延岡市議会